

令和4年度第1回登米市入札契約監視委員会

日時：令和4年7月19日（火）

午後1時45分～

場所：登米市役所迫庁舎

3階 第2委員会室

次 第

1 開 会

2 委嘱状の交付

3 市長あいさつ

4 委員長の選任について

5 報 告

(1) 令和3年度入札及び契約の状況報告・・・・・・・・資料1

(2) 指名停止措置の運用状況報告・・・・・・・・資料2

6 議 題

(1) 抽出事案の審議・・・・・・・・資料3

7 その他

8 閉 会

令和3年度入札方式別集計表

契約期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

入札方式	件数	区分・品目	備考
①一般競争入札	1件	役務の提供	1件
②条件付一般競争入札	3件	工事 水道施設工事 土木一式工事	3件 1件 2件
③制限付一般競争入札	70件	工事 水道施設工事 解体工事 舗装工事 電気工事 土木一式工事 建築一式工事 管工事 機械器具設置工事 鋼構造物工事 とび・土工・コンクリート工事 建設関連業務	67件 11件 1件 13件 3件 20件 5件 1件 10件 2件 1件 3件
④総合評価一般競争入札	8件	工事 土木一式工事 土木一式工事	8件 6件 2件
⑤指名競争入札	368件	工事 とび・土工・コンクリート工事 土木一式工事 水道施設工事 浄化槽施設工事 電気工事 管工事 舗装工事 建築一式工事 塗装工事 屋根工事 消防施設工事 機械器具設置工事 防水工事 解体工事 建設関連業務 物品（購入・製造・賃貸） 役務の提供	96件 3件 15件 8件 36件 7件 4件 9件 7件 1件 1件 2件 1件 1件 1件 32件 74件 166件
総契約件数	450件		

指名停止情報

令和4年6月30日現在

番号	商号又は名称	所在	指名停止の始期	指名停止の終期	指名停止期間	指名停止する登録業種	指名停止措置事由
1	パンフィックコンサルタンツ(株)	東京都	令和4年3月30日	令和4年9月29日	6月	建設関連業務、 役務の提供	談合等
2	JFEエンジニアリング(株)	神奈川県 横浜市	令和4年3月30日	令和4年9月29日	6月	建設工事、 物品の製造・販売、 役務の提供	談合等
3	(株)ビー・プロ	宮城県	令和4年4月27日	令和5年4月26日	12月	物品の製造・販売	独占禁止法違反
4	小林クリエイト(株)	愛知県	令和4年4月27日	令和4年10月26日	6月	物品の製造・販売	独占禁止法違反
5	トッパン・フォームズ(株)	東京都	令和4年4月27日	令和4年10月26日	6月	物品の製造・販売、 役務の提供	独占禁止法違反
6	ナカバヤシ(株)	大阪府	令和4年4月27日	令和4年10月26日	6月	物品の製造・販売、 役務の提供	独占禁止法違反
7	東洋セキュリティ(株)	宮城県	令和4年6月20日	令和5年3月19日	9月	役務の提供	不正または不誠実な行為
8	アイサワ工業(株)	岡山県	令和4年6月30日	令和5年3月29日	9月	建設工事	談合等
9	(株)銭高組	大阪府	令和4年6月30日	令和5年3月29日	9月	建設工事	談合等

審議案件一覧

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

No	入札方式	工事名称(業務名称)	区分・種目	予定価格 (税抜)(円)	担当課
1	制限付 一般競争入札	迫大網住宅新築工事2工区(3号棟建築)	建築一式工事	102,283,992	住宅都市整備課
2	指名競争入札	森公民館災害復旧工事	消防施設工事	5,724,021	生涯学習課
3	指名競争入札	善王寺コミュニティセンター災害復旧工事	建築一式工事	1,607,260	生涯学習課
4	指名競争入札	公用自動車(軽乗用車・4WD車両)購入	物品(購入)	1,353,000	総務課
5	指名競争入札	登米市立小学校児童用タブレット端末等購入	物品(購入)	17,711,000	学校教育課
6	指名競争入札	津山浄化センター維持管理業務	役務の提供	49,170,000	下水道施設課

審議概要	
案件No	1
案件名	迫大網住宅新築工事2工区（3号棟建築）
入札経過及び結果等	本工事は、制限付一般競争により入札を執行したところ5社の入札参加があり、落札率は99.84%であった。低入札価格調査の対象として入札を執行し、1回目の入札で予定価格以内の有効な入札が1社あり、調査基準価格以上であったことから、調査の対象とはならなかったものである。
事業概要	耐用年数が経過し、老朽化が著しい佐沼大網地区の市営住宅について建て替えを行い、同地区の市営住宅を集約するとともに、入居者の住環境向上と安全性確保を目的とし、木造2階建て集合住宅1棟8戸、延床面積417.14㎡の3号棟を新築したもの
委員会意見	入札に参加した5社のうち、予定価格を下回って価格を提示したのは2社であるが、そのうち1社は失格基準価格を下回ったため無効となった。他の業者の提示価格に大きな差がないので、結果的に競争が適正になされたものと判断されるが、望むべきは、予定価格以内の価格を提示する社が複数出てきてほしいものである。 今後、入札方式や予定価格の設定方法などを含めて、より競争的な入札を実行するための工夫をしていただきたい。

審議概要	
案件No	2
案件名	森公民館災害復旧工事
入札経過及び結果等	本工事は指名競争により入札を執行し、指名業者については消防施設工事指名基準に基づき、設計金額が300万円以上の場合に指名する市内A等級の業者10社を指名し、不落随意契約の対象として執行をしたところ6社が入札に参加、落札率は99.06%であった。
事業概要	令和3年3月20日発生の宮城県沖地震で被災した、森公民館の屋内消火栓設備について復旧を行ったもの
委員会意見	設計書の積算に当たって参考見積書を徴取した業者が入札に参加し、落札という結果となっていて、応札した6社のうち、予定価格以内の価格を提示したのは落札した1社だけであった。他社は予定価格をかなり上回った価格を提示していて、競争は公正に行われたと思うが、こうした結果は望ましいとは思えない。今後のためにも、予定価格設定の仕方について問題がなかったのかどうか再検討していただきたい。

審議概要	
案件No	3
案件名	善王寺コミュニティセンター災害復旧工事
入札経過及び結果等	本工事は指名競争により入札を執行し、施工地の属するエリアに登録のある10社を指名したところ入札参加は1社のみで、落札率は99.55%であった。
事業概要	令和3年2月13日発生の福島県沖地震及び令和3年3月20日発生の宮城県沖地震で被災した、善王寺コミュニティセンターの復旧を行ったもの
委員会意見	<p>指名業者が10社あったにもかかわらず、結果的に応札したのは1社だけとなっただけでなく、予定価格落札率が99.55%で、ほぼ100%と言ってよい水準であった。落札業者は、設計書の積算に当たって参考見積書を徴取した2社のうちの1社であり、参考見積書を徴取した業者を入札に参加させるのは好ましいことではない。今後こうしたやり方をするべきではないと考える。</p> <p>1社応札の取扱いについては、令和4年7月以降、指名競争入札において入札参加者1社の場合は入札が成立しないこととなるよう、制度を変更したとのことであり、改善されているものとする。</p>

審議概要	
案件No	4
案件名	公用自動車（軽乗用車・4WD）購入
入札経過及び結果等	本案件は指名競争により入札を執行し、指名業者については、車両類部門の自動車に登録のある市内業者7社すべてを指名したところ3社が入札に参加、1回目の入札では予定価格に達せず、2回目では2社が辞退したため1社のみが入札で落札決定となり、落札率は97.86%であった。
事業概要	登米市公用自動車更新契約に基づき、軽自動車（4WD）を1台購入したものの
委員会意見	<p>指名業者数が7社あったが、結果的に応札数は3社に絞られ、1回目の入札では予定価格を下回って価格を提示した社がなく、2回目の入札でやっと1社が予定価格を下回った価格を提示し、落札した。</p> <p>軽自動車で4WD、車種なども指定されていると、見積りといってもそもそも値引き率を競わせているような感を持つ。適切な予定価格の算定をどのようにしているのか疑問あり。</p>

審議概要	
案件No	5
案件名	登米市立小学校児童用タブレット端末等購入
入札経過及び結果等	本案件は指名競争により入札を執行し、指名業者については、情報処理用機器部門のパーソナルコンピューターに登録のある市内業者15社すべてを指名したところ8社が入札に参加、落札率は96.55%であった。
事業概要	文部科学省が創設した「GIGA スクール構想」の実現に基づき、児童一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境の充実のために、児童用タブレット端末等を購入したもの
委員会意見	<p>特殊性のない機器の納入で価格差がつくのは、各入札業者の調達能力などが大きく影響するものと考えますが、落札した会社と他社で大きく金額差が出ており、同様のタブレット購入でも同一業者が落札しているのであれば合理性があるが、類似の入札で別の会社が落札しており、かつ、入札金額に開きがあるのであれば、問題がある可能性があると考えます。</p> <p>地元の業者から選定するやり方は、地域経済を活性化するためによく採られる方法ですが、税金を有効に使うという観点からは、メーカーから直接購入するやり方もあり得たのかなど思ったりもする。どちらを採るかはその時々状況に応じて判断することになると思うが、今後こうしたことも考えていただきたい。</p>

審議概要	
案件No	6
案件名	津山浄化センター維持管理業務
入札経過及び結果等	<p>本案件は指名競争により入札を執行し、4月1日からの履行開始が求められることから不落随意契約の対象としたものである。</p> <p>指名業者については、上・下水道施設管理部門の下水道処理施設維持管理業者の登録をしている10社すべてを指名したところ8社が入札に参加、1回目の入札では予定価格に達せず、2回目では5社が辞退したため3社による入札となったが、予定価格に達せず、2回目で最低価格を見積もった業者と価格の交渉を行い、見積決定となったものである。このことから、落札率については100%であった。</p>
事業概要	公共用水域の水質保全を図るため、津山浄化センターの維持管理・施設管理業務について業者委託をしたもの
委員会意見	1回目、2回目の入札で予定価格に達せず、不落随意契約の対象案件であったため、2回目で最低価格を提示した社と協議のうえ見積決定となった経緯があり、予定価格落札率100%となったものであることを理解したが、こうしたやり方は本来望ましいことではない。予定価格そのものを見直して、改めて仕切り直しで入札するもあってもよかったのではないかと思う。こうした事態を避けるためにも早め早めに入札準備をし、実行することが望まれる。

総合的所見

委員会意見

今回の委員会では、6件の案件を抽出し審議した。結果としてどの入札にも不正はなかったと判断している。

しかし、懸念される点もいくつかあった。

- ① 予定価格を下回った価格を提示した社が1社だけという案件が目立った。応札した段階から競争が始まっているのだから、予定価格を下回って価格を提示した社が1社だけというのは結果に過ぎないという考えもわからないでもないが、競争のあり方としてどうであろうか。複数の社が有効価格を提示しあって実質的に競い合う、もっと望ましい入札状態を作る責任は市の側にある。入札方式や予定価格設定方法等今後工夫をし、より競争的な入札を実現していただきたい。
- ② 予定価格設定の参考にするために、いくつかの業者に見積りをお願いすることである。このこと自体問題はないが、見積りを出した業者が入札に加われれば、それは問題であろう。見積りの提出に協力をした業者が、入札で他の業者との競走上絶対的優位に立てるからである。この業者が落札するかどうかは問題ではない。競争ですべての業者が同じスタートラインに立っていることは、本来あるべき入札であろう。こうした慣習が他にも行われているのであれば、是非改めていただきたい。

最後に、市へのお願いを述べて終わりにする。先に述べた①の問題点に関わることであるが、今後より適正な価格算定の根拠とするために、類似案件での落札状況と比較しての落札の妥当性検討が必要であると考え。より具体的に言えば、類似案件・グループで数年分の落札者と落札できなかった業者の推移を取り、落札率、落札者などを比較するなどの分析作業をしていただきたい。各部署におかれては励行されていることは慮られるところであるが、引き続き行政サービスの質を維持・向上しつつ、市民から疑念を持たれない、適正かつ合理的な予算執行に努めて頂きたい。